

教科	技術・家庭科	分野等	技術分野
学年	第3学年	授業時数	18時間
教科書	「技術・家庭 技術分野」 開隆堂	副教材	「技術・家庭ハンドノート」 正進社
授業者	眞谷 和成		

年間の到達度目標	<p>(1) デジタル作品の設計・製作を通して、メディアの特徴と利用方法を知り、多様なメディアを複合し、表現や発信ができるようにするとともに、目的に応じてデジタル作品の設計を工夫する能力を育成する。</p> <p>(2) 計測、制御のためのプログラムの作成を通して、コンピュータを用いた計測・制御の基本的な仕組みを知り、簡単なプログラムの作成ができるようにするとともに、情報処理能の手順を工夫する能力を育成する。</p>
----------	--

月	単元・題材	小単元	時数	評価規準	主な評価方法
4月	D(1)アイウ コンピュータと情報 通信ネットワークの 活用	3情報通信ネットワークの仕組みを知ろう 4情報モラルを身に付けて情報を安全に利用しよう	3	(知) 情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けている。 (知) 著作権や、情報の発信に伴って発生する可能性のある問題と、発信者としての責任についての知識を身に付けている。	発表・ノート・ワークシート
5月	★D(2) デジタル作品の設計・制作	1デジタル作品の構成を調べよう 2素材の編集に関する基礎知識	7	(関) 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 (工) 作品に適した表現手段の種類やデジタル化の方法や複合する方法などを決定している。	観察・発表・ノート・ワークシート・作品
6月		3デジタル作品を設計・制作しよう		(知) 表現手段の素材の特徴と利用方法や、適切なソフトウェアを選択し、多様な表現手段を複合する方法についての知識を身に付けている。 (技) 設計に基づき、適切なソフトウェアを用いて多様な表現手段を複合し、表現や発信ができる。	
7月					
9月					
10月	D(3) プログラムによる計測・制御	1計測・制御システムを調べよう 2プログラムの役割と機能を知ろう	7	(知) システムにおける構成や、プログラムによる情報の処理についての知識を身に付けている。 (知) 計測・制御システムにおけるインターフェースの必要性についての知識を身に付けている。 (関) 利用者への影響などを考え、プログラムを作成しようとしている。	観察・発表・ワークシート・作品
11月				(関) 新しい発想を生み出し活用しようとしている。 (工) 手順を変更した場合の効果を比較・検討し、計測・制御に適した情報処理の手順を決定している。	
12月		3簡単な計測・制御をしよう		(技) 設計に基づき、簡単なプログラムを作成できる。	
1月				(知) 情報処理の手順についての知識を身に付けている。	
2月	D(1)エ 情報技術の評価・活用	1情報技術を適切に評価し活用しよう	1	(関) 課題を進んで見つけ、比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を示そうとしている。 (工) 課題を明確にし、比較・検討しようとするとともに、適切な解決策を見いだしている。 (知) 情報に関する技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。	発表・ノート
3月					
指導方法の工夫改善等		視聴覚機器・教材の活用 実験機器・教材の活用			
課題・提出物等		ノート・ファイル点検			
未到達者への対応		放課後等を活用して補充学習			